昭徳院實紀

萬延元年庚申
自十月至十二月

二十

和書門
四四七〇八號
一四三函
一〇架
六七冊

内閣文庫
和書類
四四七〇八號
一四九函
六七冊
一三架

内閣文庫

番號	和	44708
冊數		67（20）
函號		149　26

共六十七冊

国立公文書館
National Archives of Japan

十月
朔日
右之節　松平岩長ヶ八幡宮江御祈祷之節被仰付　御名代　諸事相勤候
右町奉行相住候　御用掛出役　右町奉行相勤候

御白書院
右之節
藤堂和泉守
御代参岩長ヶ八幡宮社参ニ而御祈祷被仰付
伊達遠江守
上杉弾正大弼
松平安芸守

銀三拾枚
巻物十
時服三十
巻物五
金三百疋
金三枚
巻物五
御目録被遣之

銀子代

出勝手

御目見 支配 竹中彦八郎

表御台所 小普請組 大須賀河守

内 御番組 堀田伊賀守

出番 京町奉行 京極十郎

出羽 御目附 松平次郎兵衛

金子取 御方

右弐番 入御 出御次

御庭間

西丸御留守居

二丸御留守居

右参 御老中 御覧

右御老中 御覧

出役 佐野総右衛門 吉三郎

番頭 大井八左衛門

田安殿御用人 浅井清八郎

西丸御留守居 京極伊十郎 伊勢守

二日　火災遊[illegible]御見

右病気新[illegible]為名代嫡子忠[illegible]　御免

[illegible]水上内膳

三日　総出仕[illegible]　御礼　出御

一 今晩御謡初　出御　御例年之通御規式有之

京都御使　出座　[illegible]　御目見

四日

御座間

[illegible]居　出羽殿
親王　宮御方
京都　御使
三家
京極丹後守

出雲守[illegible]
堀[illegible]大輔

[illegible]千枚
[illegible]

右於出座　御目見

右於増上寺

廣大院様御法事中ニ付[illegible]　御目見

五日　晴天

六日　御法事ニ付紀伊殿御年寄衆御出合　於同所焼香一度　小笠原… 共十二人

一　於増上寺

廣大院様十七回御忌御取越御法事御執行中日ニ付為

御機嫌伺尾張殿紀伊殿尾張殿之中納言様方之手紙

上使　山口勘兵衛

増上寺方丈

御精進一組

右御法事中ニ付…

大目付
御目付江

覚

御年忌御法事…御取越御法事ニ付…

…奥表諸役所且下部屋向迄…

…御機嫌…御中…

一　…

…以上

七日

一 出張會ニ付御起居 尾紀水卿干菓献上 乾肴増寺
 廣 大老老中 浦賀奉行所出之

一 出張中ニ付高輪ニ出植 尾張殿紀伊殿ゟ菓子

一 折ツヽ被遣候ニ付差上之

 上使酒井右京亮
 増上寺方丈

右出張之中ニ付 且御菓子始末済ニ付

上ゟ之御賄 濱ニ付

 出張組
 三井ニ而
 御組
 贄 若十郎

 宮中 被

右老中 紀伊殿 御免且年寄共ゟ大御番頭

紀伊殿へ

 御側衆

附之羽村

 酒井左衛門尉
 奉行
 松平監

附所ニ出張御用之節

御目見 済 御用人合 上之候

 御側衆 上月

八日

 上野御代拝

一 今朝上野

一 溫恭院様御霊前為御代参被遊候ニ付

九日

三ノ切持者御任之将 拾二人　増上寺江出籠物度

出精ニ付 [illegible]
任之将

銀弐百枚

右従公義御附ニ付為出籠物也

松平隠岐守

上使 本多美濃守

増上寺方丈

十日

増上寺御代参 [illegible]

大奥巡視被　命

一 今朝増上寺

慶大院様　御霊前　御廟所江　御代参

為御済被遊候

右 [illegible]

大目付
佐藤 [illegible]
久須美 [illegible]
[illegible]
男谷 [illegible]

御目付
[illegible]
北條 [illegible]

海老[illegible]池御成之節於出張ニ付[illegible]

御帰之

大御番
松平伊予守組
[illegible]
三橋[illegible]三郎

御小性組
酒井[illegible]組
[illegible]

松木[illegible]
[illegible]四十郎

稲葉[illegible]組
内藤[illegible]

大久保[illegible]

海老[illegible]池御成之節於出張ニ付[illegible]

御帰之

御小性組[illegible]
右同断代り

御番
太田求馬

十一日

就尾張殿[illegible]使者[illegible]
御本丸[illegible]

一 尾張殿[illegible]紀伊殿尾張殿[illegible]

中納言殿[illegible]

御座間

時[illegible]

[illegible]美濃守

右様上書

廣大院様御法事御用相済ニ付於　御本丸被下候

御役人江被下

水戸中納言殿

右紙ニ而附札いたし

御肩附ニ

覚

御錠口内ニ而去ル間迄之入ニ而御役人之面々御用向御座候間

様之義ニ有之候ニ付御用部屋向并奥向御右筆衆宛

等之受取之品之外ニ而被仰出候趣御錠口

内ニ者入ニ而面々之用向申出候様之事

十二月

奥向御頭

御肩書

御広敷下之品　上様　天璋院様　本寿院様　御簾中様

御納戸久保杢之助

参り候以上

御納戸

添尾彦十郎

戸田五太夫

御用多ニ付筆ニ而申付候

十二日　高家一人　御案内御役参

右就高家衆江も之

上使御老中　松平和泉守
津軽土佐守

一　御目付

来月初旬

公方様　天璋院様　本寿院様

御本丸江　御機嫌伺之為　被仰出候

向々江も可被達候事

十四日　楓山　御参詣

一　今辰上刻　紅葉山
文昭院様御霊前　御参詣

一　明日忌明ニ付　御精進ニ而　御礼被為請候

十五日
月次御礼　高家　服部加賀守殿　御同人
紀伊中納言殿　御目付　米津越前守　尾張殿御見舞候
御三家方　出仕　出雲殿　御機嫌伺

一　今巳上刻　御白書院出御　月次御礼被為請

御白書院

一 綿二十把
金二百疋代
一 縮緬二巻
金二百疋代
同 押絵十掛
同 鋤十掛
同
同 十疋
四百疋代
一 巻物五
巻物二
四百疋代

御勝手方

御取次 松平隠岐守
奏者番 津軽土佐守
大坂加番 分部若狭守
駿府加番 織田出雲守
同 中奥御小性 朽木山城守
御使 板倉内膳正
御目見 織田百吉九郎

寄合御加番 新見大膳亮
御小性組 新見伊賀守
村垣淡路守
小栗豊後守

一 入用之品 御払ニ付 御勘定所御勝手

一 御茶品物外寄合戸殿分 茶一壺 銅一折

一 尾張前中納言殿ゟ 寒気為御見舞
御使を以 御目録之通 御使者を以被上之
広蓋ニ 酒井若狭守
右御本丸へ当番御徒目付持参之
御広間
当番目付
西丸当番目付
当番 御徒組頭 坂部三十郎組
西丸当番目付 安部式部
当番 御使番 滝川三蔵
当番 [illegible] 宗十郎
当番 三宅 [illegible] 組
同 [illegible] 十郎組
右終 御本丸へ 御持参之
大目付 御目付 [illegible]
書院番 [illegible] 組
[illegible] 寛十郎
当番 [illegible] 組
[illegible] 八郎
[illegible]
未十月九日
公方様 天璋院様 御本丸ニ [illegible]

然　信濃守殿今日ニ而出雲守同席より中奥組
ニ相達候よし
御目付ニ
其月九日
五万様　天璋院様　御本丸　御梅様ニ而同日
本寿院様ニも　御本丸大奥ニ　御引移ニ而被成候
此段御心得向ニ而被仰出

一　今日九ツ時御供揃ニ而　御本丸ニ御上り　被成候
一　十七日　楓山御代参　御側御用人ニ被仰付候
一　今朝紅葉山
御宮ニ而　御名代　本丸ニ而御参詣ニ而候
大目付
御目付ニ
御側衆御対ニ而御側御用人ニ御渡し　中奥番衆并ニ
五月御稲荷様又銅屋銅壱丁銅代金割合遣候

其品ニ新規之品造出し売買致候者有之旨相聞
銅座ニ而銅引請候名目ニ而貫目等相糺
候ニも仕入横須賀ニ差遣シ売人ニ売渡候とも
前之銅吹方之者ニ而も他所ニ而細工之ものニ相渡
申付之類と名付製造致し候事ニ付ニ而
右銀銅鋳之内ニ而横須賀ニ而吹方之者ニ相渡
以上相違無之趣有之儀相成万一右銅座ニ相背
相聞候とも相成候ニ付以来其村役吟味之上厳重ニ

銅座へ申付家心得違致候者有之ニ
右之通申付置候処近頃猥ニ成候ニ付候ハゝ急度咎
可申付候もの也

十八日　吹上御成

一　今四半時御供揃ニ而吹上江被為　成候

二十日　紅葉山御参詣

廿日

同　三

一 廣大院様御法事御用相済候ニ付被下之

同

寺社奉行
阿部右近将監

御勘定奉行
塚越大蔵少輔

寺社奉行
松平伯耆守

二十一日

一 重陽之 御内書出来ニ付、被下之
重陽御内書 揃候ニ付 命 御弟子(?)一 出納之節 命 者壱人
御内書出来之方始 御黒書院被相渡候
支度相済御渡且伝奏衆役人被下之

天璋院様
御広敷御用人
出精相勤候ニ付
姫君様御用人
銀布五
本郷新右衛門

右於 御前被下之

二十二日

御座間

御書院番頭
若年寄組
柳原(?)権之助
本丸役取次ニ(?)付

御役替
以結(?)南部(?)江(?)御移之
御番入被 仰付候(?)

御書院番頭次席
瀧口讃岐守

御小性組番頭
神保山城守

御書院番頭
松平美作守組

同
土屋佐渡守組

出羽越前名代
松平出羽守殿
自分名代
長岡能登守殿
黒書院ニ而
酒井主殿頭殿
信濃守ヨリ
山名八郎右衛門殿

右於 御白書院 御対面

御目録被下之
且又[illegible]格別之
御機嫌被仰出御礼
御作法

南部遠江守

寺社奉行代
粟田主馬
信濃守ヨリ
山名八郎左衛門
御名代
赤松左兵衛尉
出羽守殿
戸田七之丞

[illegible]
右於 御白書院 御対面

附紙之
是より[illegible]

内藤紀伊守

黒書院ニ而
溝口讃岐守

廿三日
臨時朔参
諸出仕為年頭遣被差出之人 上杉弾正大弼之張 御本丸[illegible]

一 今日右衛門督殿 出御
御白書院

此字欠

右之振ニ付 御禮ニ付 御目見 御一字を被下之

上杉喜平次 式部大輔ニ改

叙任 侍従

御太刀一腰
銀三十枚
巻物五
御馬鞍置之
御刀 備前長光 代金拾枚

右之通献上て御礼申上て 御盃頂戴 御刀 義景作 代金拾五枚

上杉式部大輔

綿三十把
金子代

御引替之御礼

上杉弾正大弼

右之通 入御

御座看

御刀 備前長光 代金五拾枚
御刀 来太 代金三拾枚
御刀 信国 代金十五枚
御刀 吉光 代金十五枚

来国光
乳
一

右御刀九腰御差替之御用ニ被遊候ニ付差上之

附札ちの

御側衆

久世大和守

内藤紀伊守

牧野遠江守

遠藤但馬守

本多丹波守

右同断ニ付於奥被成下之

金拾五枚
時服五ツ
別段金五枚

金拾五枚
時服五ツ
別段金拾五枚

金拾五枚
時服五ツ
別段金拾五枚
ツゝ

坪内伊豆守

山田奉行
池田甲斐守

小普請奉行
松平出雲守

作事奉行
松平駿河守
本多伊勢守

小普請奉行

別段
銀拾五枚ツゝ

金拾五枚
時服五ツ
別段金拾五枚
ツゝ

同
同
別段七枚

同

金三枚
時服三ツ
別段金廿四枚

荒尾土佐守
内藤若狭守

目付
駒井山城守
松平洋正
長門守中

勘定吟味役
福田八郎右衛門

本多将監

右同断ニ付而

金拾五枚
時服三
別段金三拾枚

金拾枚
時服二
別段金百枚

右同断ニ付而

大番頭之内
三番

右ニ付
御役之

出羽守様ゟ之書
一橋殿家老
松平式部少輔

出羽守様ゟ備後守之書
松平隠岐守ゟ
勝田左近

出羽守
井上河内守

廿四日
富光院殿病気ニ付 御免 東海道之者寺社奉行之者連名

覚

中務大輔

病気ニ付而 長々相勤候者 同列無遠慮御用 内存之通

御喪 御聴ニ付 御礼申上

台徳院様御霊屋御修復御用 御朝鮮人来朝

御用掛 御手伝 御用被仰付ニ付 御礼ニ

此度御用向御通行ニ付難渋之趣申立候ニ付

今般願之趣も有之候間格別之訳を以御聞済相成候条

右之通相心得可申候

右之通申渡候間其旨相心得宿方一同へ可申聞置候

中善之丞

午四月

右同断

十六日

此同断ニ

道中筋是迄之宿々并門場共困窮ニ付人馬賃銭割増

別段賃銭門銭賃銭共割増之儀左之通申渡

去ル卯年八月より当申八月迄三十五ヶ年之間

人馬賃銭割増并去ル卯年当申九月より来酉六月迄

中五ヶ年之間是迄之通割増

東海道

嶋田宿

去ル未年十月より当申九月迄五ヶ年之間

人馬賃銭割増

当申十月より来酉九月迄

五ヶ年之間是迄之通割増

付

大磯宿

袋井宿

去卯九月より当申八月迄中五ヶ年之間
入置候給金四割増之内中貸出ニ付
相之当申九月より来ル丑八月迄中五ヶ
年之間一ト通り之上四割増之

日光道中
大澤宿

去ル卯十月より当申九月迄中五ヶ年之間
人馬賃銭其元四割増之内中貸出ニ付相残
当申十月より来ル丑九月迄中五ヶ年之間
一ト通り之上四割増之

甲州道中
駒木野宿
小佛宿

去ル卯九月より当申八月迄中五ヶ年之間
御朱印人馬賃銭三割増之内中貸出ニ付相之当申
九月より来ル丑八月迄中五ヶ年之間一ト通り之
上之三割増

中山道
[illegible]

右割増賃銭申渡候 下ヶ札之通

二十五日
尾張殿出生之子 御使 与見寄以ヶ面進上 尾張殿出生之子事
下ヶ札之旨 尾張殿出生之子出産
諸事与紀伊殿 言上
御使 内藤紀伊守 松平美濃守

尾張中納言殿

右者尾張中納言殿御妾腹ニ御男子元之代殿出生
出産之子也 御出生之段今朝ゟ 御祝之御歳出礼之
城於門白書院御老中

紀伊殿
家老

御秘蔵之御茶入大名物也
肥後
細川越中守殿
進之
御茶入并ニ御刀 今国 行光[illegible]
右御道具中納言様ゟ被遣候由[illegible]

二月廿日
酒井讃岐守
土井大炊頭
[illegible]
細川越中守殿

○右之御代殿出来ニ付尾張殿御養子ニ 御出之段水戸殿
紀伊
尾張殿江上意
尾張殿
家老
右尾張殿ゟ中納言之殿ゟ女尾張殿御養女ニ御取立
ニ付御礼申上候 御前ニ而上意
一 今日於殿中 紀伊殿ゟ上意ニ

二月六日
出雲守 松平
松平 紀伊守
[illegible]

今年七拾五歳

御本丸御普請ニ付於上て

御褒美

丹波守か
津田正之

本多美濃守

紅葉山
台徳院様 御宮御遷座御用

右於
御白書院ニ而
御付之

小普請組
岩瀬内記支配
奥坊主[illegible]
入江楽水
隠居代
長兵衛 九拾[illegible]

遠藤但馬守ニ喜被下候ニ付切米[illegible]拝領遣
[illegible]文[illegible]中[illegible]被[illegible]

之
仰付之

二十七日

松平陸奥守
御目見之次
家来[illegible] 石見
御目見被[illegible]

松平陸奥守医師
大槻淳秋

之
石見[illegible]
[illegible]
仰付之

大目付
御目付江

御供従之衆御先供掛り面々布衣以上以下共相
心得候様可申付一同並居　通御之節
御目見之上　御行列ニ相加り可申旨御沙汰候事

十八日
尾張家江被仰渡候　松平元千代
尾張大納言殿家老
尾張中納言殿家老
成瀬隼人正
御達
出精相勤候ニ付格別之通ニ被成下候

御目付江
松平元千代儀元服ニ付而者急度内風聞之衆并組合之
面々之中ニ家来二三人ツヽ召連之者急度心得
候様ニ相達候様相心得候ニ付而者其節相心得候様ニ而御
相達候様先手之者共江申聞置候而も補之届ニ不及
町奉行ニ而も相達候向論ニ不及候事遠慮可有之候
右之趣心得之面々江も申渡候得者先例之通ニ致し候様
来相達候様相心得候事

出雲国大社造営付而被出勅使之事

今ハ前後之義共相覚不申候由之
去暦之御造営附之承度之内中来ル寛文年之三年之官符被遣候
勅使御附添之出雲國之御高十万石より被下其節社在所之入而
出雲松平出羽守殿ニ而先年之差上候所ニ出雲國
寺社方之所々ニ而本社ニ而其外社殿造営
地之義ハ社家共出雲國之地頭ニ而相勤候間向後出羽守
右之通ニ松平出羽守之者共御達ニ而可申上候也
右之通ニ而相済候

二十九日
一 松平出羽守殿内ゟ出雲国大社造営奉行
二 出勤候之分
出目付ニ
御城坊主衆向出礼ニ参候
御殿(?)役人衆ニ而出向ニ参候
右之通 御目付衆ニ而出仕候
但使者ニ而差出候様ニ而申入候
松平出羽守家来
二十二人
雑掌共州出雲国造営奉行
之者 御目付ゟ申渡之趣
相済候ニ付二十二日出雲ニ
罷越候様ニ而申渡
申之

一
献上物差上候ニ付
御目付ニ而相済申候
右之通ニ而相済候
出目付ニ

明朔日慶事同前ニ付御出仕首尾能相済候様ニと御祈禱被仰付候

同月次御礼首尾能候

御目付ヶ

明朔日御出仕之節早々御出仕首尾能相済候様ニと存候

十二月九日

一 御部屋九日 御機嫌伺ニ付御参府

一 霊御事関より大奥御内桜田御門迄 御部屋御事

関より北御 入

一 三方様霊御事御当霊御目見ニ付御前罷出候

御目見之首尾よく候

帝鑑間 御譜代衆

同 嫡子

諸大名

諸物頭

布衣以上御役人

同以下御家来

諸役人者共

嫡子共

一 菓子台縁取
握子共

溜之台

溜塗

同所出席方

松平筑前守

松平阿波守

松平三河守

四品之書院出席之方

二之間

諸礼

同奏者番衆

美濃守出役人

出席之方

御目見之面々

一 右之面々 御本丸江登城 致

一 三方様御為 入御 表之席々ニ而 御目見之

一 御目見之者之事

一 御本丸西丸大奥共同様若用ニ而

同 十一日

一 御格式之席ニ被仰候面々出仕
但、御奉行同様若用之事

一 出仕之面々、番中ニ而御羽織着之者、若年寄中ニ而も着用不苦候、且
病気引込之面々も月番之番中ニ伺之上着用可致事

一 在宅在邑之面々も番中ニ而御羽織着之儀伺之上着用可致事
但、隠居非番之面々も右ニ准し可申候

右之通可相触候
目付江

十一月
朔日
月次御礼 [illegible]
一 今巳上刻出宅ニ而出御、月次之御礼、其外御礼被為請
御白書院
奏者番 [illegible]
御勝手 [illegible]
奏者番
松浦 [illegible]
織田 [illegible]
長崎奉行 [illegible]
高橋 [illegible]

一　右畢而　入御

御座所

巻物箪笥
八ツ入壱代

右　御銘献

二種一荷

縮緬拾巻

二種一荷

同

元千代殿御養子
為御礼
尾張中納言殿

御使因幡（[illegible]）
尾張中納言殿

徳川元千代殿

尾張中納言殿

尾張殿御簾中

一種一荷

同

貞性院殿

尾張中納言殿
御簾中

右者　元千代殿御事尾張殿御養子ニ付　従先方有之

此段御合期之事

一

常今御妹

和田郷御方御縁組御治定ニ付　御出向之儀不被為在候

来去右之　御口

和宮御方

和宮様ゟ大樹様御目録尾張殿紀伊殿始惣出仕面々江

於御前老中列座罷出ヶ伺候ニ付

老女共ゟ御縁組御用向御用
御用取次

御達

右於 御座之間 御渡之

和宮様御用向之旨
御請

御縁組御用向
御用取扱

大奥御広敷

久世大和守

諏訪因幡守

遠藤但馬守

御留守居
池田甲斐守

大目付
浅井伊賀守

遠山隼人正

御勘定奉行
松平出雲守

天璋院様御用人
岩佐播磨守

鈴木安房守

東條信濃守

御広敷御用人
小出助四郎

御先手　黒野正助

御目付　駒井山城守

松平洋正

黒川左中

浅野一学

御使番　須防右衛門

大久保権右衛門

仙石播磨守

同　三四郎

小林鶴之助

高尾惣十郎

御細工頭　浦尾若十郎

御小納戸頭取　設楽八三郎

御側衆　一色邦之助
御留守居　平岡丹波守
大久保甚三郎
御広敷　川村勘五郎
御納戸頭　土岐豊前守

和宮方　御縁組并御用向御用懸

御附

同断　御用

御広敷

尾張中納言殿

紀伊中納言殿

御鷹組頭〆人差出候ニ付　御暇被下

御對顔

名代
大久保〓郎左衛門

同
〓田〓三郎
〓四郎

金子千疋

金五百疋

御鷹大納言様御鷹之鶴上納今日　御前ニ

御目付江

和泉守　和泉守殿より被相渡候

右之趣可被相達候

御目付江

今日御礼ニ付　高家衆登　城之面々

御礼相済若年寄中ニ而被申渡

右之趣可被相達候

二月

朔

浅野〓〓
御名代〓之人

同　新番

御軍艦操練所ニ而　右出精ニ付　銀一人　同断

寺社奉行
青山大膳亮

御奏者番
酒井隠岐守

未正月於東叡山

文恭院殿三回御忌御法会ニ付御布施一…被仰付

石川主殿頭

同月…被仰付

二月

御…

当番支配勘定…

右…

内田恒次郎

四月

御…

小林仁之助

同…

松田…郎

水…

村松源之丞

伴謙四郎

…年…之助

…十人

末

文

見

候

三月

本城御梅院道周御吸物御酒被下之　并麦切なと上台返司被下之

右者付ニ

御本丸ニ御梅院之御而

御本丸方布衣以上役等於

御本丸吸物御酒被下　御目見以下之者ニも御酒被下之候

右ニて段何レも下され候

但西丸御目見ニ而　御本丸ニ而吸物御酒被下之

四月ゟ全座入

四月

紅葉山

御宮参詣御神器

御老中　御老中衆二人

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十二人

右従貢之 御目見

此振之

西門之方并桜田御門内之方之様子西丸下御櫓続

之通御目見之様御用相成候節之者之

御普請奉行

松平上野守

同

御本丸 西丸 御掛之門之方之并 櫓続御普請御用相成候節

之様之

右同人

蕎麦之

粉類并 ……麦

麺之類之……有之

取交売渡候儀之義ニ付而者 遠慮いたし厳

重ニ可被相守候

右之趣御料者御代官私領ハ地頭より可相触候

五月

此触之

日之御代官

御勘定奉行

右御目付衆へ　相付候
此後ニ
右門上ニ而
ニ而御糸
同
御朱九一
之ニ而
　　　　右御目付
　　　　御目付衆
　　　　　　　　小笠原佐渡守
　　　　下平上野守
　　　　非常様上方御用人格
　　　　大澤隠岐守御奉行兼帯
　　　　秋元但馬守
　　　　大目付
　　　　　　　同
　　　　　　　　石河土佐守
　　　　小笠原　同
　　　　　　　　同
　　　　　　　　　　　守
　　　　二百石

麦作之儀ハ和其入念候様壱渡候儀停止候、米麦
雑穀迄茂同様ニ相心得、米穀者壱渡ニ而者
難相済、以後者麦作同様可申付、
右之趣壱渡候儀致候者ハ急度遠慮ニ於而ハ厳
重ニ可相心得
右之趣御料ハ御代官私領ハ領主地頭ゟ不洩様可相触候
五月
　　　勘定奉行
　　　目付代へ
　　出羽道奥其外御料所

御座間

右御出座　御目見
　宝壱枚
　時服三　拝領
　時服二枚
　御馬代三枚
　金壱枚
　時服二
　御馬代三枚

出羽組　御用番付
月光　御名代
三家
六角越前守

御小姓組
加藤伯耆守
大澤隠岐御用人
岩倉播磨守
御目付
駒井山城守
御納戸
浅尾若千郎

御道具数新規御手寄御用向御歳暮之通可差出候
御老中御上ケ　小笠原右近将監　御取次
　　御振舞

六日
半紙　一束
銀　一枚

松平右近将監
吉田信濃守

御手元御取次所二通之
小笠原信濃守
同　松丸
名代　小笠原信濃守

小笠原右近将監并新ニ役被仰付候面々御礼被申上候　御附迄

候旨若年寄衆御用番江被申達右近将監御附之面々ハ

御附従之従者共ハ銘々ニ而右之席ニ而御礼被申上候

之儀被出候之　御書院ニ而御礼被申上候

御附之

廿九日

御目付江

御椽側衆

御本丸江出仕之面々六半時登

城之様可被達旨御達ニ

廿九日　　大目付江
　　　　　御目付江

御椽側衆　御本丸江出仕之面々六半時登

城之様被達候旨御達ニ而御殿江大手御門登　城御椽面々ニ而被

達候事

七日

当今之元金　大監日之丸御取納

御中出元之役之被仰付者之役ニ而　御用向被仰出有之

此度　御印九ヶ　御旗并ニ船印等大小船ニ
入差度事ニ可申付旨　上意ニ候
　　　御目付江
　　　覚
大小船印之儀今日之　御達之趣布告し
面々江茂何分ニ而も可申達候事
　六月三日
　　　大目付
　　　御目付江
大艦ニ者　御惣印　白地日の丸幟相立

右之儀ニ付中帆ニ相ヶ白練布吹貫引揚帆之中
央ニ相用候積ニ候、且又其余ハ右吹貫御惣印之白地
日の丸之旗ニ縫付引揚帆之白相用候
右之儀ニ付軍艦之中ニ而も細旗を中帆柱ニ引揚候而
諸家之旗と区別大艦之ニ者諸家之船印
右之儀ニ付船印之不紛様相離形ニ而相用候
右之通差出候事中帆之細長吹貫白布ニ而帆中ニ
且又諸家之ニ而銘々之紋附ニ而不苦候、尤御惣印白地

日の丸之旗纏緒ゟ揚ケ候得共船之印ニ而候

先達而相触候通可相心得候

○八日

上野江御代参 無滞朝鮮人来聘首尾 満足思召

出役之者 年寄衆 御紋付 大之元合

御座ル

朝鮮人来聘御用相勤

満足

和泉守申渡

安藤對馬守

目付

松平越中守

小栗豊後守

右於 御前 御褒美被下之

相済候上 御留守居

宗対馬守

出役之者

松平越中守

若年寄衆

和泉守申渡

堀

御代官

永井

清田屋江河守

年来職業之出精相勤候 朝鮮人来聘之地出開相済候 御紋付 ゟハ

御賞ゟ入精相勤候 和泉守申渡 相済候様 別而相勤候 相極

尤相勤候ニ付

大目付

御目付江

大ニ元気ヲ痛メ候ハヽ然ルヘク候ニ付 第一ニ難有
之、然ル上ハ諸事不都合ニ而不相叶事ニ候間、能々心得
可申也、右之通ニ候 御用ニ付 御申九ツ半時分
御坊様ヘ御入来之節、御供ニ相成、諸藩ヘ下リ候間、安
堵之上ニて無之、何ニも其大将不足之所ニ而難儀致候事也
湯薬用ニ而ハ何ニ而も元気ハ不足ニ候得共、無益之事
年若之内ニ而者大気相捨ニ而敷、大ニ養候事不宜
不相済ニ付、有之通ニ候ヘハ 以来養生可致

無之、何ニ而も小大将ニ而用ニ候得は、大将ニ而成ル事致し
不申候、然ルニ於テハ大造成大将ニ而用ニ候得共、誠ニ成ル
故ニ其新規大将ニ而申候、何も勿論其今迄ニ而不宜
何事も大ニ元気ニ而候ニ付、兼々常々心を用ひ候様
二階ニ而ハ相心得候、心附肝要之事、何事も相応之心附
門様之御事ニ付、右之大将ニも、其気之毒小人自身之儀ニ付申候
諸色ニ付而者、中之事ニ而も、退屈致候而者、尤も御坊様
御気ニ入、然ル上ハ諸事相済候事ニ而不宜し

場所を締り附迄ニてハ無之二階ニ大勢居候衆ハ御目
通ニ出候事ニ付所ニ而暫ク休息ニ而外ニ御用之二階ニ出ル
出候者ハ面々も別ニ入念心附候様ニ可被申含候
御目付ヘも申達候
右之趣向ニ而可申付候能々相心得候

〇一 今朝上野
浚明院様御霊前江為 御代参 内藤紀伊守相勤ル

九日
御登城 御揃候 外国人集中坊意合
一 今辰上刻 御本丸ニ而御揃 御座之間ニ出仕候
旅席之 御目見有之
大目付
御目付ニ
外國人集中坊達ハ右議会ニ而不作法無之様
致旨兼而申聞置候得共若御用之向ニ而気附
心得違之無之様ニ而御沙汰相成候ニ付向後之

相済申候ニ付而ハ紀之上ニ而被仰渡候以後相
遂ニ其上無用ニ極能々主人ニよりて被申付候
右之趣ニて相済申候

十日

増上寺御代拝　三家日光御代拝

一　今朝増上寺
慶大院様御霊前ニ而御名代ニ御参詣之事
三家
六角越前守

御縁組之上　御出ニ付日光
御宮ニ御名代ニ而御参詣　御極院ニ被遣し　御名代差
上ケ相済申候

十一日

御極院殿御海出仕　御用番献上物　同御返献物
和泉御用御頼
御極院殿御海へ出候様被仰出紀伊殿紀伊殿出仕有之
一　右之通ニ付而ハ諸事仕候様ニ申渡し
一　右之通ニ付日光出ニ候ニ付御同新ニ被仰付ニ相済申候

一 右者此度三家方ゟ三種二荷ツヽ尾張中納言殿より三
種二荷之通被下之

一 右者此度紀州中納言松平兵部大輔ゟ被進之候様代ニ而差上
元方

右 右者此度万石以上之面々ゟ此様代ニ而差上候段ニ元方
御座候

四月十

同七

久世大和守

内藤紀伊守

右御小石川御用惣代ニ付於 御前相渡ス

同六日

牧野遠江守

右者此度於奥相渡ス

遠藤但馬守

同七

右者当年来永々御用之人ニ付惣代別而ニ付於
御前相渡ス

安藤対馬守

十二日

難波御病退御免出之上　折々之馬献上ニ付願

松平駿河守

出羽守　森山六左衛門

中務大輔ニ病気ニ付出役　御免被成

御聴ニ相達申上候処　早々以後先達而御心次第

被仰付候御暇

御請

戸田采女正

折々之馬差上　御奉書ヲ以被仰付候

十四日

家督　初而出登　城　従若年寄差添新番人

大目付
御目付ニ

先達而ゟ病気出登　城御老中合ニ成相達候処名知明

小姓組番頭
御書院番頭
組頭

佐野治右衛門

家督

十五日ゟ出登　城文在之以様ニ而候　御目見以後下部ニ而六

御暇

右之者ゟ病気出登之処御老中合ニ而候ニ付相達不申候

新番人

十五日

月次朝會　其外　御礼　相續御礼　被仰付候

御三門出来候御目付

一 今巳上刻出御 月並之御礼被為請

御白書院

継目御礼
全之代
巻高之

同
退之代

同
全之代

同
退之代

独礼
松平越中守

家督之御礼
右同人

奏者
大村因幡守

同
瑞穂甲斐守

同
端急越後守

継目御目見
次男之代

同
全之代

全之献
継目御礼之名代

全之代

退之代

御勝手口

松原小平次

家督之御礼
小笠原孝松丸

家督之御礼
菅沼新八郎

初御目見
金森次郎

御目付
渡辺八十五郎

右畢テ 入御

初雪ニ付御機嫌伺

十六日

一 雪降ニ付為伺御機嫌出仕之面々ハ例之通ニ而出仕也

一 右同断ニ付三家溜詰ゟ奉書被参候　哉

十七日

一 楓山御代参　先祖御祭　御霊殿御仏殿
　出仕登　営之様会　御中室之衆参
　今夜　意安　法印
　先祖御祭ニ御膳ニ上和尚御寄進ニ付如此之

一 寄
　今朝紅葉山
　御宮　為御名代之堅相勤ニ而御出相
　若年寄付
　目付ニ
　出仕付登　城之面々着服之義常之通ニ而先年ゟ
　是ハ先年之定之通ニ而其年ゟ出仕之衆着用被仰出之
　相極候
　右之趣相達ニ而御目付ニ而相達候

二十一日

古金銀令

御目付へ

古金銀真字金小判、同一分判、丁銀、文政元年文字金銀草
字金小判、同一分判、同壱朱判、二朱金銀、通用停止之事、兼而
十月より引替相触置候処、来年十月迄ニ引替可申旨
引替之義、来辰年十月ニ至迄ニ引替、右期限過候而ハ引替不致
候間、右期限迄ニ不残引替可申候
右之趣、御料私領寺社領共、入念可被相触候

右之通可被相触候

増上寺御代参

二十二日

一　今朝増上寺
　惇信院様御霊屋江御参詣御代参被仰付

二十三日

日光准后御使、紀伊殿より使者
徳川元千代殿より御使
絵図奉行、中川勘兵衛、右二人
御使番
徳川元千代殿

二種ツゝ

一種ツゝ

同　同人　尾張中納言殿

同　同人　尾張中納言殿

同　同人　尾張殿御簾中

同　同人　貞信院殿

同　同人　尾張前中納言殿御簾中

右之品代銀出差遣ニ付今納候事

一　右同品ヲ有徳院殿之御代ヨリ奉書金ニ而代尾張殿江二種

一　為御使番之者遣之

一　新宮叙品　宣下於御対面所御目見之節御二種

一　為御目見之節ヨリ使番之者遣之

出席之面々

使　松平筑前守

同　村越平三郎　松平阿波守

同　井戸大内蔵　松平大膳大夫

同　松平讃岐守

同　竹尾　蒔　和泉守

右之通相済候事

二十四日 朝鮮人来聘ニ付 中川飛驒守

松平安芸守名代 土佐守
松平讃岐守名代 左兵衛督
青山因幡守名代 伊沢主殿頭
松平美濃守名代 松平遠江守
稲葉丹後守名代 渋谷 三郎
朝鮮人来聘御用之外
御礼之

右之 御礼

二十五日

縫殿 御會釈之席を以 給之

御會釈之

同

同

同

寄合 青山主水

上使 水野壱岐守 松平内蔵助
同 小出主水 土方深右大夫
同 天野長三郎 松平出羽守
同 村越七郎 有馬中務大輔

同二十七日 能役者 拝領 松平中務大輔

同

右之通

二十六日

差上候御能拍 御目見 衛村大蔵院 御用

大判 為御祝儀 三百疋 尾張中納言殿より被下

之之

右同断 御能之節 御奉行衆 被申付

大目付
御目付江

下総国猿島郡伏木村大政院不動之本尊御朱印并本尊
今般盗人ニ盗取候ニ付、心当り之者於有之ハ、早速申出候様
可被相触候、尤見及聞及候ハヽ、御料ハ御代官、私領ハ
領主地頭ゟ申出、其上ニて於江戸松平伊豆守方江
申出候ハヽ、同類たりといふとも其科をゆるし
御褒美可被下候、若隠置、後日ニ相知候ハヽ
可為曲事者也

右之趣可被相触候

御旅館御用御馳走物
御茶之間坊主 大坂給仕二人

二十七日
御弓羽織四枚
同三枚
金子三枚 宛

御留守居
池田甲斐守
天澤院様御用人
岩佐摂津守
御目付
駒井右京亮
松平淡正
遠門左中

姫君様御用人格
天淳院様御霊屋ニ而相勤候
本多弾正少弼

金三枚
別段 巻物五
右御法会御用相勤候ニ付被下之

寺社奉行
安藤三郎八郎
遠江守書物文
伊達春山

同
妻木源三郎
松平大学頭

御紋付小袖ニ疋

同

太刀馬代被下之

二十八日
御本丸ニ而御法会大納言
御代 絵師日光御宮
日光
同断ニ付被下之 宮下主殿
御役人者
相勤候者二十九人

金二十枚
松平駿河守

同
百枚
本多伊勢守

同
七十枚
中村石見守

右御本丸ニ而御法会ニ付上納金之分

御留守居
二枚二分
御附
日光山門跡
同
同人
同
新

右之者共被下之 宮下主殿ニ付相勤候ニ付被下之

上使河田采之助
松平大学頭

同 仁賀保□太郎
大膳大夫嫡子
松平長門守

同 青木源之助
松平大和守

同 永井喜之丞
佐竹右京大夫

同 井戸八郎兵衛
南部遠江守

同 一柳惣十郎
丹羽左京大夫

同 村越三十郎
松平安芸守

同 竹尾清七郎
津軽土佐守

右之趣申之

二十九日

奏者番 披露 叙任御礼 越前守病気復為御名代
老中

同 小出□□
伊達遠江守

大目付六人之内半分 組頭壱人
小十人頭 杉山□□

寄合 堀□□ 御目見之席

寄合 土屋佐渡守

寄合 中奥御番
同 平八郎

同
稲垣□之丞

寄合□□
御小姓組番頭
村松伊中守組

同職之面々　右十八人

右隠居家督之礼　御礼也

[illegible]

右病気ニ付[illegible]御目見[illegible]

脇坂中務大輔

名代[illegible]

御礼也

出仕ニ

[illegible]

高松(?)左近

右老年ニ付[illegible]御目見且年寄ニ而[illegible]

之面々

[illegible]

右目見之面々

大目付
御目付ニ

[illegible]
堀門(?)八左衛門

脇坂中務大輔

月次之御礼　書院並席向ニ而御白書院ニ而

御目見之中上ル事

朔日

十二月

月次朔會　惣役和尚出頭　出役寺　二番衆叙任

和尚衆出仕御用　要之所出頭加之点之預物

諸国代官役所　惣役和尚出頭御用合

一　月次出仕　出御出礼相済

御座間

和尚出頭御扱

二番衆

上哀二番衆　久世大和守

畠山庫蔵

二之丸
和田左門

御目付

御先手
川窪藤右衛門

二丸留守居

御納戸頭
戸田与左衛門

二丸留守居

中奥小姓
三宅丹波守

御目付
御使番
瀧川三郎四郎

京極主膳

一色
山口勘兵衛

御納戸
稲生
仙波権兵衛

御小姓組
戸川
津田雄五郎

御代官
古田忠三郎

黒鍬 御用人格
杉山桃左衛門

右於 御広敷 御付之
主従共
御仕置 君候

御老中
御側衆
御用

御小姓組
御番

御小姓組
御用
御供

三之家
畠山庸蔵
飯沢喜三次

姫君様御用人格
天璋院様御広敷番之頭
大地新兵衛

御小姓組
後藤一之進

天璋院様御広敷番之頭
大谷木安左衛門

御納戸組頭
内藤鉄一郎
永井勘之助

御納戸頭
御役御免

御納戸頭

御納戸
鵜殿民部少輔
冨田右京亮
牧野金助
森信八郎
池田達三郎

御勘定吟味役並
吉田次郎右衛門

御勘定
吉田源次郎

御目付
御使番
和宮様御用

三百石
御加増

五百石
御加増

御手当金
拾枚

同
千枚
三判

新見豊前守
和宮様御用
御勘定奉行
村垣淡路守
和宮様御用
小栗豊後守

新見豊前守
村垣淡路守

御軍艦奉行
小栗豊後守
木村摂津守

金七枚
時服三
同二枚
同 三
同五枚
同 三
同二枚
同 三
同二枚
同 三

山名豊之組頭
太田 喜三郎
有馬玄蕃頭
石川主殿頭組
塚原 金十郎
名代 左門 喜三郎
山名豊之組
[illegible] 長三郎
本多中務大輔組
[illegible] [illegible] 四郎
御手人
[illegible] 組
律 [illegible] 太郎
本多中務大輔組
[illegible] 氷 [illegible] 郎
山名豊之組
[illegible] 見分

同
同
同
同
同
同
金十五枚
金三十枚
時服三
御掛[illegible]
時服三
同十五枚
時服三
同
金七枚
銀二十枚
時服三
同
[illegible]枚

同 三郎 喜之郎
[illegible] 三浦 玄元
[illegible] 村山 伯元
本多中務大輔組
吉田 佐五右衛門
[illegible] 吉 [illegible] 平
[illegible]
小永井 五八郎
[illegible] 組
根津 欽次郎
[illegible] 中 [illegible]

銀拾枚
時服二
同銀二十枚

同三十枚
時服二
同二十枚

松平[?]守家来
[?]
小野友五郎

川村[?]氏

松平[?]守家来
木村宗俊

松平[?]守[?]
牧山修卿

亜墨利加船江為御用 被差遣骨折候ニ付 [illegible]

木村摂津守

亜墨利加へ出軍艦ニ乗組候ニ付 御国初[illegible]

之事ニ而船数千里之航海無滞 御用相勤格別骨
折候ニ付格別之訳を以年々之為御手当壱人扶持
被下之

森田岡太郎

同断ニ付 壱人扶持被下之

塚原重五郎

同断 同断

成瀬善四郎

同断　七人扶持

刑部鉄太郎

白須寅三郎

高橋立元

村山伯元

同断　五人扶持

吉田佐五左衛門

同断　三人扶持

勝麟太郎

同断　拾人扶持

伴鉄太郎

同断　金弐拾両

金十五両

吉岡勇平

同　七両

小永井五八郎

銀三十枚

小野友五郎

同

川崎左民

同 木村宗俊

同 牧山脩郎

同所ニおゐて
大目付
御目付立合

大和守ヲ以申渡 御用部屋 [illegible] 右ニて申渡之

[illegible] 御用筋之儀 大和守より申渡 [illegible]

同 [illegible]

二日 [illegible] 遠慮 対上状

[illegible] 遠慮

二十日

中瀬ニ而

家事不取締ニ付御役御免小普請入差控

御先手
坪内伊賀守

遠慮

対上状

[illegible]
金三郎
申二十四

斬罪

同
松[illegible]
[illegible]
牧野藏之助

右者上ニ而ハ
被罷

押込

右之通申渡

同人
悴 松坂録三郎

出役
大御番組
頭
今井清五郎

小普請組
松平遠江守支配
横田新左衛門

小普請組
伊沢美作守支配
石井熊三郎

同
川上龍五郎

竹腰兵庫頭組
武藤半作

御目付之儀御
勘定奉行
立会

右於評定所伊沢美作守石谷因幡守跡部甲斐守立会

三之丞儀伊沢美作守因幡守申渡之

内藤安房守組
与力 石川五郎兵衛
松平主殿頭家来
福島新左衛門

三日

日光
奉行御役 再勤之儀被仰付

御普請組
御役
日光 奉行

同

大手中之口　出番之筈之

一 雲澤ハ府内之御構照之出家ヲ僧侶ニ差免遣之

同

同人

上使ニ而 白金之 新寺

上使御使番

増上寺方丈

四日

加番青山大膳亮跡

奏者番寺社奉行兼帯　酒井雅楽頭殿

加番青山

滝川三郎四郎

跡

右筆之支配

御役之

大番頭之

御尋之被差出之

上使

酒井雅楽頭

奏者番寺社奉行

五日

諸国

上使御法事勤之

右同日

御役之

其節

御法事勤之

六日

御当地御着ニ付為御祝 町奉行御本丸御番衆御留守居衆
酒井雅楽頭殿御尋被遣候

上使 安藤水野孫十郎 松平隠岐守
同 竹尾戸十郎 松平遠江守
同 …蔵之助 大久保学之助
同 …隠岐守 戸田采女正
同 当…之助 内藤…監
同 松平…殿 松平安芸守
同 河田…之助 松浦大…亮

御当地之人参り

同 林藤左衛門 小笠原佐渡守
同 嘉本…之助 石川主殿
同 …内記 稲垣信濃守
同 須田… 松平佐渡守
同 …長…之助 加藤越中守
同 …采女 小笠原右京大夫
御当地御留守居 町奉行 石谷周防守

右之通[illegible]
以上

御本丸御座之間并御用部屋其外御修復ニ付被仰出候旨
當方ニ付之
其外難成候
右病氣ニ付御断申上 御免被下候

右御用番
酒井雅楽頭

七日
一 御本丸御普請御作事御普請出来ニ付
御修復御出来之御褒美被仰付 石灰場會所
一 右之段 御本丸表向御座之間御普請御修復
被仰候之

大目付
御目付江

石灰場売渡會所之儀去ル午年より當申年迄
三ヶ年季之處再興申付候而石灰場売渡江戸
表ニ而売買致し候處御門外大橋際會所江
積付候而積下候ニ付同所ニ而積下し売買いたし候事ニ有之
會所不残積下ニ候之處江戸表売買被致候者も有之
右躰之儀無之様令承知候人數増減有之旨
相觸候ニ付去ル申年より明ル同年より来ル午年

○大目付へ

来ル四日石嶋山

文恭院様 御忌日

御ゝ於御法事

遊候ニ付

天璋院様江御 為伺

御機嫌 本寿院様江も

出仕之人 天璋院様御機嫌[illegible]つき

四奏者ゟ可被相伺候事

右年寄衆ゟ[illegible]中納言[illegible]被相[illegible]

可被相触候

右之趣国[illegible]科[illegible]代[illegible]地[illegible]

可被相触候

右之趣向々江可被相触候

○

八月

上野[illegible]代参

御[illegible]紅[illegible]

一 今朔上堂

奉行奉書ニ而

御[illegible]再拝[illegible]

一 温恭院様 御[illegible]

此節年来奉行奉書ニ而

御[illegible]今年上野[illegible]院

出御

相手組

中押[illegible]

林[illegible]入

安[illegible]

坂口[illegible]

伊藤[illegible]

同[illegible]

四日　晴

雲泉

林　有英

伊藤宗印

大橋宗与

晴

右畢而　入御

出銀澄

堀田備中守

御本丸出雲守依付上納金仕組松杉堂上之義及承

平生在所ニ松杉堂ニ而之事　右之上ニ依之候

九

日

尾州殿上　御中奥出座ニ付御取次

首藤出雲守殿

御礼済候上出羽守組下新番衆松平筑前守住吉并酒井新左衛門

組頭

掘合手数

時分合手五

堅ニ仕ニ而候二度々出雲守合

尾張殿家老

竹腰山城守

成瀬隼人正

滝川丹後守

同手数　了

同十

御本丸出雲守依付出雲守江松杉堂被申上方之義指別

積文之手数ニ付差出候

但此段者右之御方江申達了

出雲守江御沙汰了

老中江

右於奥祐筆所
御書付之節

同

同

同

同

右之趣申渡之
御祐筆部屋ニ而

本多豊後守

井伊兵部少輔

本多猪三郎

本多伊予守

堀田摂津守

和泉守
高井丹波守

同
滝川播磨守

御當人急度被仰付別段被仰付候

御蔵燈
竹腰兵部少輔

出精相勤候段
御本丸御番衆ニ付御上様

其上段不下有心配常ニ付別段之通被仰付候

被下候
稲葉丹後守

右同断被仰付之

大目付
御目付江

今度　御下向之儀者此上之極而遠路　御郷退ニ
御出立之事ニ　御下向掛り　御目附ニ而も右之品者
此度ハ是迄とハ格別御手厚之事ニ候　依之召人数之
事ニ候　御付添之分ハ道中ニ而も混雑無之様
去年宿駅疲弊之折柄格別之儀ニ付可成丈
無益之人数ハ省キ候而も差支無之分ハ減少分之
人足ニ而も是迄之様ニ不致先達而人数之義申聞候
本之儀非常之御用ニ而見付候而も此段申渡

右之趣　御下向御用ニ付上京之面々江可被達候
大目付　御目付　御勘定奉行
右於　御黒書院溜老中列座大和守申渡
松平越中守
同人嫡子
酒井仁之助
内藤紀伊守
酒井雅楽頭儀茂追而仁之助并御付
隠居　京都警衛格別　御付内御用御苦労ニ候
雅楽頭儀茂同様之事ニ候　御付

酒井仁之助

四品拝任之心得ハ

仁之助事
酒井録四郎

雅楽頭養子被仰付仁之助与改名之

御付家老石之候ニ付而也

欠

上座
酒井仁之助

右同氏酒井雅楽頭卒去ニ付為
当寿之事

十一日

有中奥御目見之
京師出候之人

中奥出座

右之
御礼

金千枚
出羽守之
拝領

同
五枚
拝領

同
三枚
同

同
[illegible]

出羽守
今度御作事奉行
秋月長之郎

同
今度御進物
稲葉主水

拾人

当番之所
松井伊賀守

出目付
村上栄正

姫君様御用人
三澤院様御広敷番頭
大嶋牧右衛門

京都出候ニ付此節御暇之ニ付
御目見之儀
御付

十三日

出座　和泉守　叙爵

御座之間

和泉守
為代

和泉守

右於　御座之間　御礼

右於同所ニ而被　仰付

紀伊守
丹後守
津田日向守

池山縫殿

和泉守
池山絵務
申渡候

十四日　於深川真鍮銭吹方令

御目付江

世上通用之寛永於深川真鍮銭吹方被
仰付候右真鍮銭壱文ニ付寛永銭四文之代リ相用ひ
来ル十七日ゟ在来之寛永銭ニ取交通用可致事
百文銭之寛永銭壱文銭同様ニ相心得一統ニ
右之趣相心得候様ニ無差支様支配方江可申渡候也

右之通山科松尾之社領之儀ニ付松下石見守相勤ル

○歳暮之御祝儀

十五日
月次御礼 参之御 諸大名御礼 出仕 諸番頭
御座之間ニ而御目見 御奏者番 御詰衆 溜詰 諸役人 出仕

一 今日上ル御座之間 出御 月次之御礼相済 被為入

侍従之御礼 松平越中守

高家之御礼 畠山飛騨守

持参 溜詰代 土岐山城守

戸田伊勢守

卷物五 組三代 同

銀三代 同

銀壱 同

青山丹波守 同

大島雲八 同

安部摂津守 同

保科弾正忠 同

米倉丹後守 同

森川出羽守 同

寄合之御礼 堀 蔵之助 金馬代 卷物五

右府 榊原清左衛門 銀壱

巻物七

銀二百代(?)

出勝手

右弐品

入御

御庭ゟ

一 御刀 壱腰 [illegible] 代金三十枚

那須(?)[illegible] 芦野采女(?)[illegible]

[illegible] 八郎

[illegible] 描(?)之丞

小濱(?)熊之助

久世大和守

一 御刀 壱腰 [illegible] 代金 [illegible] 枚

一 御刀 [illegible] 代金十二枚

一 御刀 [illegible] 代金十三枚

一 御馬 [illegible] 壱疋

一 御馬 [illegible] 壱疋

内藤紀伊守

牧野遠江守

遠藤但馬守

御側衆
平岡(?)丹波守

坪内(?)伊豆守

右 御対顔(?) 山吹之間(?) [illegible] 於 御黒書院(?)

御役 御免之御禮 申上

若年寄

大目付江

西丸御留守居より

御勘定奉行より 松平 御勘定吟味役 山口丹波守

御勘定吟味役より

右於 御座之間 御次

牧野遠江守

寺社奉行より 本多左近監

御勘定吟味役より 山口丹波守

御目付 駒井山城守

大目付 遠山隼人正

大目付 小笠原長門守

松平越中守

東叡山 紅葉山

御宮 御霊屋 御参詣之節 御供之面々

御附

金五枚

右老年ニ付 勤之通御役 御免 御隠居年寄之者共御小普請

御留守居より 星野?郎兵衛

御持弓頭より 小倉 ?郎

先ニ記ス

○

○此間中ニ相勤候ニ付
去ル廿二日ニ被下

右之通被仰付之

此日附ニ

一　歳暮之為御祝儀老中若年寄中江
相越候事、十八日右当番衆江申達候様ニ与之事ニ候

一　年礼之義、元日より七日迄之内右御同様当番衆江申達候

附、風聞ニ而ハ年礼ハ為無用候

一　右之外之もの共ハ毎年町人職人共も為同前候
右之者ニ而も相勤候共大勢之もの罷出候事無用ニ候

十六日

○諸役人衆
加役之者共

御役之者
御進物番之内拾六人
加役之者共之内拾弐人
布衣以上之者共十二人
此分ハ御家老
西丸御目付壱人

松平紀伊守
藤堂和泉守
松平安芸守
津軽越中守

別段ニ　御目見
中将
田猿ニ　御目見
中将
別段ニ　御目見
加役
別段ニ　御目見
侍従

別紙之
写之通被仰渡

同　田様江
写之通写

同　諸家江

溜詰様
写

松平大隅守
柳沢式部大輔
亀井隠岐守
戸澤　主計
隠岐守下付
隠岐守忰
松平謙次郎
式部大輔
大久保準之助
加賀守下付
松平安之進
主殿下付

松平織之助
能登守下付
本多貞四郎
能登守下付
内藤源五郎
志摩守下付
織田万寿
筑前守下付
鍋島熊次郎
備前守下付
京極孫之助
左衛門尉忰
酒井勇之進
摂津守下付
式部大輔忰
柳沢小弁之
兵部大輔

右組之人数　仁兵衛

出羽守嫡子
水野忠之丞　主膳正付
紀伊守嫡子
京極縫九　安藝守付
松平信之助　越中守付
出羽組頭
小笠原彌三郎　志摩守付
奥田三之丞　主殿頭付
日光奉行
山口彌左衛門　備中守付
西丸出雲守組
塙越左三郎　相模守付

大坂
本多寛司
横田喜三郎
松平源之郎
出目付
山口勘兵衛
小性組
小田切喜之助
今井三平
永井采女
古郡孫大夫

能勢金之助
大久保権之助
永井喜之丞
松平仲
以鉄炮方
井上左太夫
以従[illegible]
戸田寛十郎
菅[illegible]彌五郎
以船手
松平左門

[illegible]
服部平五
[illegible]又左衛門
以[illegible]
津田雄四郎
以勘定吟味役
吉[illegible]喜三郎
三田源助
裏門切手番組頭
早川[illegible]郎

右拾六人　御供之

松平筑前守

右同断ニ付中納言殿家老壱人法眼並之者 御目見
水戸殿家老壱人
尾張殿同壱人
紀伊殿同壱人

右同断
別段 十万石以上之家老並ニ縁下

溝口主膳正

右者 御目見

両御番所 岡本 玄治

法印

狩野勝川

右者 御目見
楓山 御霊屋 三之家白光院殿御廟所

一 十七日
今朝辰上刻 出御 厳有院殿 紅葉山
御宮参詣
御霊屋 御霊屋
御座間
出御 常憲院殿 白光院殿 御霊屋

六角越前守

右御府中　御目見

十八日　為御名代　御使番拾六人　御書院番若二人

若狭守書方添役　伊東鍋次郎

若狭守事前之通御臨ニ御目見被仰付　御目付支配

案内遣候之

上役加奉行之格　玉置山城守

此段ニ人々

上役加寄合郎　高柳丹波守

右之通

十九日　寺社奉行

金剛坊

右御寺社奉行被仰付御目見且年寄ニ而被仰付

小普請組　年寄衆支配　大岡次郎

御小性組　飯田左馬之介

そのほか

二十日　御寄合御目付　御供衆

御作事奉行　御目付

金四枚

右御蔵門番三之金山東郡御用出精ニ付被下之

御目付
海口八十郎

金三枚
時服二

御納戸頭
高橋平作

右長崎表え罷越候ニ付被下之

○勘定吟味役御用ニ付被下之

二十一日

臨時御用
勘定吟味役
御勘定組頭
勘定奉行

御用ニ付
金三枚

御目付
久世大和守

御勘定奉行
小栗
高橋伊勢守

一
金三枚上羽織
出精ニ付

根ニ代
同
出勝手方

金三ニ代
同

御目付
平岡丹波守
御目付
堀内伊豆守
海口三郎
堀田四郎
同
御勘定吟味役
細川武之助

同　瑞多顕之助

同　酒井録四郎

同　根来第三郎

同　太屋平八郎

銀子代

御目見

安藤清務助

同　竹田七九郎

同　巨勢鐐之助

同　大森金五郎

同　高力庸之助

同　市橋鉉之郎

同　酒井平八郎

同　大木宮之助

同　湯口松次郎

同　松下鐐之郎

同　中島子之郎

同　同　同　同　同　同　同　同

同 滝□三郎惣領
萩原三左衛門

出羽 三左衛門惣領
尾崎宗右衛門

同 平太郎養子
土方業之助

同 寛之丞惣領
門奈源五郎

同 半兵郎養子
大久保三左衛門

同 内記惣領
永井猪之郎

同 吉左衛門養子
竹内三之助

同 半十郎惣領
福井平左衛門

番□孝鐵 三左衛門惣領
平川鉄之助

一橋殿家来 十郎兵衛惣領
高橋三郎三郎

清水殿家来 十郎左衛門惣領
横尾平六郎

入門と云 御座候

右之者 入門

一 [illegible]出役[illegible]宗家方[illegible]屋[illegible]中納言殿

附[illegible]

御禮之節　間部下総守

同　青山下野守

同　土屋采女正

同　牧野遠江守

御役屋山 [illegible]

日光 [illegible]

右終而下ニ

御三所 [illegible] 大老 [illegible]

遠藤但馬守 [illegible]

酒井右京亮

右道之間 [illegible] 山 [illegible] 且明日出仕 [illegible]

御前 [illegible]

御書 [illegible]

遠藤但馬守 [illegible] 御用 [illegible] 酒井右京亮 [illegible]

中奥小姓 [illegible] 右目付 [illegible] 御目付

御勝手方 [illegible] 但 [illegible] 中奥 [illegible]

酒井右京亮

右目付 [illegible]

大目付

御目付

一御勝手方御用向之義大和守紀伊守對談月番之
取扱候得共向々諸伺書等ハ是迄之通下ケ札老中月番ニ
紀伊守ニ而相心得當月ハ大和守ニ而月番相心得
候事
右之趣向々江可被達候事
　　　大目付
　　　御目付江
一御勝手方御用向之義遠藤但馬守酒井右京亮
月番之取扱候得共向々諸伺書等ハ是迄之通
下ケ札老中月番之但馬守右京亮ハ月番
相心得候事
右之趣向々江可被達候事
　　　大目付
　　　御目付江
一和宮様御用之儀遠藤但馬守酒井右京亮ニ而懸リ被仰付候
月番之取扱候得共向々諸伺書等ハ是迄之通下ケ札
老中月番ハ出雲守當月ハ右京亮ニ而但馬守月番
相心得候事

右之通向々にて御渡有之候

十二日
増上寺御代参 御小姓組御目付（?）
日光新宮 御霊前 御勤候 御小納戸頭取（?）

一 今朝増上寺
慎徳院様御霊前へ御代参として御参詣
御（?）参詣（?）

右之節御登
山之節御登
城
日光新宮
御霊前御勤候

[illegible]
於西御殿御養君御座之間
奉行
来月紅葉山御宮御参詣之節[illegible]
山本新十郎
飯田忠助（?）

十三日
[illegible]
[illegible]
[illegible]
長谷川（?）[illegible]
諏訪[illegible]

同

同

同　三〻

同　弐〻

同　三〻

大目付
水野伊勢守

松平次郎兵衛

同
有馬帯刀

大草主膳

同
小倉九八郎

浅野一学

同
寄合肝煎
安部式部

西丸目付
揖斐与右衛門

小普請支配
三上阿波守

去年十月江戸参候刻此度之組立退候ニ付被下之

当寺指之節
町奉行
寺社奉行
池田播磨守
時服七

寺社奉行
丹羽五左衛門
金三両
銀三枚
時服三

大目付
伊沢美作守
時服四

山口丹波守
同　二

勘定奉行
大目付
駒井山城守
金三両
銀三枚
時服三

勘定奉行
松平出雲守
時服三

時服二

同三

同二

金三枚
時服三ツ

寺社奉行
酒井隠岐守

御勤之通
小笠原中務守

同格
堀織部正

御勤之通
村垣淡路守

竹本図書頭

鳥居越前守

小栗豊後守

松平石見守

金二枚
時服三ツ

時服二ツ

巻物

時服二ツ

肩付
松平洋正

西川左中

松平次郎兵衛

御勤之通勝役
江楽八之丞

御勤中書留
坂田八郎右衛門

同
三島松平作

同
三田緑助

奥医師江戸桂川甫周倅桂川甫策

金弐枚
時服弐
常憲院 井上信濃守
南部信濃守ニ付右之者ニ而上意之趣ニ而和章
於御前被下之

一 二十四日
上野御代参
三之丞紀伊守
大猷院大僧正へ御
御参詣之節御名代
有徳院参詣 御納経
一 今朝上野
浄観院様御門跡為御代内藤紀伊守罷越
御名代書院

増上寺
大僧正 御暇乞 御目見
宮様一宮 御暇乞
御奏者番 御役儀
従四位下
御目見 御暇乞

鎌倉
光明寺
小石川
傳通院
三之丞
太田出羽守
大目付
酒井山城守
松平出雲守

金七枚
同之
別段金七枚ツヽ

金三枚
同之
別段同三枚ツヽ

御本丸表向小普請組頭出役東叡山ニ被相勤候ニ付

御小姓組

西丸当番頭

出役
松平駿河守

秋元伊勢守

御目付
松平淡路守

黒川左中

小普請組頭
福田八郎兵衛

田安家老
田村伊予守

田安家老

小普請組頭支配

手人組之頭

小普請支配

大番頭

御目付

西丸書院番組頭

右於 御白書院

候仰付之

小普請組頭
荒尾石見守

普請役
神保熊之助

中奥番
石川伊予守

当番
田村右京亮

大番組頭
小林多三郎

西丸当番
坂部平左

当番組之頭
今井左太橋

出羽守殿為御指

右於 奥之 御座之

二十五日

増上寺 御霊屋江参出御候処御廟所 林大学頭

御三家具之 八代御廟拝礼 御霊屋

出羽守殿之進候 法事等之

布衣以上之人

吟味之被 仰付候

出羽 山名佐渡守

出羽 田沼主殿頭

御法事 林大学頭

出羽守殿之 堀大蔵少輔

出羽 松平能登守

今日之被 仰出候

増上寺 松平右京亮

増上寺

有章院様 御霊屋江出御 出候処御法事 御霊前

御法事之被 仰付候

出羽守殿 出羽守殿為御指

林 大学頭

右之 御座之

八代御廟拝礼一同

上総介 出羽守殿 水戸中納言殿

同 尾張中納言殿

同

同

右之趣申達之

右之趣申達之

此例格

以新番之頭　格

同　御書院番頭
紀伊中納言殿

御作事奉行
同見習

同人
同　御役之

御書院番頭格
池田甲斐守

松平越前守

本多伊勢守

小普請組支配
内藤豊前守

御本丸御書院番頭格常勤出精ニ付御褒美

御書院番頭格
松平出雲守

御目付
松平　[illegible]

黒田　[illegible]

被下之

常ニ出精ニ付

御本丸御書院番頭格別

常勤ニ付　御褒美

本郷

小林[illegible]之郎

布衣

右於 御前被仰付之

十二月六日

中山道 海道宿々 板橋宿 中山道宿々人馬賃銭割増金

時服三

二丸表御祐筆 此度中山道宿々人馬賃銭割増被仰付候

寛政三亥閏四月 今井吉左衛門

三之丞 御勘定 遠藤清五郎

御勘定方 松平次郎右衛門

黒鍬頭 荒尾石見守

三之丞 白須甚兵衛

右願之通申付候

此度御免

中山道宿々并日光道中 松平 相模守

并人馬賃銭割増之儀 先達而申渡

去子年より当申十二月迄五ヶ年之間
人馬賃銭割増 四割 当申十二月迄 五ヶ年
其外二割増之分 四割増

去卯年より当申十二月迄 五ヶ年之間
人馬賃銭 四割増 当申十二月迄 五ヶ年
年之分 四割増

中山道 板橋宿 松山宿

日光道中 粕壁宿

右割増銭十疋宛ニ而以上壱貫三百文
右之趣向々江可被相触候
卯月廿日
駿州安倍郡
建穂寺
上野 下野 信濃 伊豆 駿河
右寺院諸堂社并大破ニ付修復為助成当未年より
来ル三ヶ年之間勧化御免ニ付社寺奉行連印之勧化
状持参次第当二月より来ル子二月迄御料私領寺社領
在町共不残巡行いたし候信仰之者共志之多少ニよらす
可致奉加旨御料ハ御代官私領ハ領主地頭より可申
付候
右之趣可被相触候
二月七日
旅宿 此御用中 当年番 土岐伊予守
[illegible]
長兵衛門 久之三郎

出羽組
内藤紀伊守組

出羽守
[illegible]

平山六郎左衛門
右二十二人

出羽守
一橋殿用人

右於目付 御付之

出雲之介

同 [illegible]

[illegible]中

右於奥右筆

以目付

書院番頭 [illegible] 以書付 [illegible] 四文[illegible]
[illegible] 書院番頭 [illegible] 御[illegible]
角書院番頭之[illegible] 右者全国[illegible]
[illegible] 以上 [illegible] 吟味之上
[illegible] 被仰付 [illegible]
右之[illegible] 御代[illegible] 被[illegible]

ことゝ也

右之趣ニて於本國ハ

〇今般参府ニ付御供衆

増山河内守殿八代目相続

継目任候處

[illegible]

松平安房守殿

中将

松平和泉守殿

二年八月

當番

年始着座四人

今日上刻御登城

出御

御白書院

御目見

二第二巻

右畢テ入御

未年始着座

此部屋ニ

御出

松平安藝守

上杉弾正大弼

蜂須賀阿波守

松平大隅守

稲葉長門守

松平恭二郎

松平美濃守

増上寺大僧正

〃
土井大炊頭
〃
松平越中守
戸田縫之助

右終テ

附添之〃

同断

宝蔵院
嫡子

御書院番頭
松平出雲守

御小姓組番頭
大目付
酒井山城守

御書院番頭
塚越大和守

御小姓組番頭
横田八郎兵衛

同日
於鉄炮箪笥二丁打試有之
安藤対馬守
小倉
弓ア

見物ニ付
高橋年紀

御鉄炮
右之御覧被成候
御出方御広敷之家
御奥女中

右之外
御用人衆
往来

一
嫡
名来
花田丹後

番頭
大久保

御小姓組
番頭

御太刀三
別段献

金三枚
御太刀

御太刀二
別段二

金三枚
御太刀

御太刀二
黄金二

一 松平出羽守嫡子
松平式部大輔

御同名安芸守嫡子
松平出雲守

御同名
織田伊賀守

御奏者番
京極八三郎

福田八郎右衛門

金銀注文披露者相済之

上使
増上寺方丈

八代寄様一宮

右之面々退出

御座間

加判之面
御役人
大坂御城代
寺社奉行加役
奏者
御留守居
御側衆

右畢 御老中御礼 御目見

別段
御太刀中献

一
松平右京亮
松平伯耆守
牧野越中守
小出加賀守
御同名
大岡備前守
京極
松平主殿頭

松平下総守

古来松前之外自今為来之　異国船渡来之節

有之候ハヽ四国之松前湊出候事月次出仕之節

続候得ハ　御任務之儀　御目見之

関之為可然海岸之船罷在　御付家来[illegible]

二十九日

二月廿日　古賀謹一郎席出役之事

松平美濃守達之事　御覧

二月廿日之儀

古賀謹一郎

松平紀伊守

蕃書調所出役取扱出役[illegible]当分[illegible]席

候　御付蕃書調所内之儀ニ付[illegible]

[illegible]掛相之事其[illegible]候事

松平紀伊守

松平美濃守

異人応接之儀本ノマヽ二本カ[illegible]

御付之

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan